

保育理念		・遊びこそ、生きる力・学ぶ力 ・保護者からも信頼され、地域に愛される保育園							
保育方針		保育目標		◎すこやかな子どもに育てる ・元気いっぱい子ども ・笑顔あふれる子ども ・思いやりのある子ども					
保育所の社会的責任		人権尊重		地域交流と説明責任		個人情報の保護と苦情解決			
		保育所は子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行わなければならない。		保育所は、地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に、当該保育所が行なう保育の内容を適切に説明するよう努めなければならない。		保育所は、入所する子ども等の個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情等に対して、その解決を図るよう努めなければならない。			
発達過程とクラスの相関性		地域の実態に対応した事業			保育時間	平日 7時 ~ 19時 土曜日 7時 ~ 18時			
子ども一人ひとりの成長段階を踏まえたうえで、養護と教育が一体となって保育は展開される		田や畑などが多い農村地域で、三世帯家族が多いが近年兼業農家やサラリーマン世帯も増加している。早朝、延長 土曜保育の需要も増えてきている。大風合戦やよさこい踊りが盛んで地域住民との関わりも多い。地域の行事への参加、JA青年部中心の地域活動事業(畑作り、米作りなどによる交流や収穫体験)にも力を入れている。小・中学校との連携を大切にしている。			保育時間	平日 7時 ~ 19時 土曜日 7時 ~ 18時	主な園行事 ・入園の集い・お誕生会・南区の実りをいただく日・通足・七夕 ・夕涼み会・保育参加・一日保育体験・運動会・祖父母交流会・発表会 ・クリスマス会・新年お楽しみ会・菰玉がざり・豆まき・ひなまつり ・デイサービス利用者来園・お別れ会・卒園の集い		
子どもの保育目標	6か月未満	6か月~1歳未満	1歳~1歳6か月未満	1歳6か月~2歳未満	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
	緩やかな担当制の中で、心地よい環境や、安心できる保育士のもとで食事や睡眠などの生活リズムの感覚が芽生える。	緩やかな担当制の中で、心地よい環境や安心できる保育士のもとで安定した生活を送る。	緩やかな担当制の中で、保育士や友だちと触れあうことで人や周りの環境に興味を持ち、安定して生活したり遊んだりする。	緩やかな担当制の中で、保育士や友だちと触れあいながら、安定して生活したり遊んだりする。	穏やかな担当制の中で、保育士や友だちと楽しく遊ぶ、保育士と一緒に身の回りのことを自分でしようとする。	保育士の手助けを受けながら基本的な生活習慣を身につける。友だちと関わりをもちながらいろいろな経験を楽しむ。友だちとの遊びを通し、相手にも思いがあることに気づく。	基本的な生活習慣や態度を身につけ、互いの気持ちも認め合い、友だちのかかわりを受け、集団で活動することを楽しむ。身近な環境に積極的にかかわり感じたこと、思ったことを様々な方法で表現する。	様々な人々のかかわりの中で、相手の立場を理解し、思いやりの気持ちや愛情、仲間意識をもつ。身近な自然や環境に自ら関わり、生活リズムを立上げ、様々な物の面白さ・不思議さ・好きなどを感じる心を豊かにする。遊びや体験を通して感じたこと、思ったことを工夫して様々な方法で表現する。	様々な人々のかかわりの中で、相手の立場を理解し、思いやりの気持ちや愛情、仲間意識をもつ。身近な自然や環境に自ら関わり、生活リズムを立上げ、様々な物の面白さ・不思議さ・好きなどを感じる心を豊かにする。遊びや体験を通して感じたこと、思ったことを工夫して様々な方法で表現する。
養護	生命の保持	一人ひとりの生理的欲求を満たし、気持ちの良い生活ができるようになる。	一人ひとりの生理的欲求を満たし、気持ちの良い生活ができるようになる。	歩行の確立により、行動範囲が広がるため、安全な環境の中で快適に過ごせるようになる。	安全な環境の中で快適に過ごせるようになる。	家庭と協力しながら適切な生活リズムを整え、健康に過ごせるようになる。	一人ひとりの体調を把握し、健康に過ごせるようになる。	一人ひとりの健康状態や発達を把握し適切に対応し、健康に過ごせるようになる。	健康に関心をもち、自ら体調の変化に気づき訴えられるようになる。
	情緒の安定	優しいまなざしや触れ合いなど、応答的な関わりを通して、基本的信頼感を形成する。	優しいまなざしや触れ合いから自分が認められ、愛されていると感じられるようになる。	温かいやりとりやスキンシップを積み重ね、人と関わる心地よさを感じられるようになる。	一人ひとりの気持ちによりそいながら、安心して過ごせるようになる。	一人ひとりの気持ちを愛おしみ、十分スキンシップを重ね、心の安定をはかっていく。	子ども一人ひとりの気持ちを温かく受け止める保育士との信頼関係の中で安定した生活ができるようになる。	一人ひとりの子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、その発達を援助する。自信を持って生活できるようにし、自主性や自立心の育成を図る。	一人ひとりの子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、その発達を援助する。自信を持って生活できるようにし、自主性や自立心の育成を図る。
教育	健康	食事や睡眠などの生活リズムの感覚が芽生える。手や足を動かすことを楽しむ。外気に触れる。	食事・排泄・睡眠などの生活習慣を繰り返して体験する。全身を使った探索活動を楽しむ。外気に触れる。	保育士との愛着関係を基に、健康、安全な生活に必要な習慣を積み重ねる。	簡単な身の回りのことに興味を持ち、保育士と一緒にやってみようとする。楽しく体を動かして遊ぶ。	簡単な身の回りのことを自分でしようとする。楽しく体を動かして遊ぶ。	基本的な生活習慣が自立し、進んで体を動かし、自分の意志で行動しようとする。	活動の場を広げ自信を持って行動し、健康、安全に必要な習慣や運動能力を身につける。	健康や安全など、生活に必要な基本的な生活習慣が身につくとき、大切さを理解する。
	人間関係	保育士との信頼関係の中で安心して過ごす。1対1の関わりを大切にします。	保育士との関わりを深め、愛情や信頼関係が芽生える。	保育士との愛着関係を基盤として、人と関わりを持つようになる。	保育士と一緒に遊んだり、そのやり取りの中で楽しみを持ち、関わる。	友だちや保育士と一緒に生活したり遊ぶ中で人と関わる楽しさを知る。	友だちのかかわりを通して、相手の気持ちに気づいたり、簡単なルールのある遊びを楽しむ。	友だちとの関わりを深め、関わり方を知り、約束やルールの大切さに気づき守ろうとする。	友だちと一つの目的に向かって一緒に活動する楽しさを知る。異年齢との交流や関わりを深める。
育	環境	安心できる環境の下で周囲にあるものに興味を持つ。	安心できる環境の下で周囲に興味を持ち、自分から関わろうとする。	見る、聞く、触るなどの経験を通して感覚の働きを豊かにする。	探究活動を通して、好きな玩具、場所や遊びなど見つけて楽しむ。	身近な動植物や自然に触れ、興味や関心を持つ。	身近な動植物や自然現象に親しみ、見たり触れたりして楽しむ。	身近な自然や生活の中で色・数・量・形に興味を持ち、見たり考えたりして遊ぶ。	文字や数への興味や関心が深まり、遊びや生活の準備をし、ルールや決まりを友だちと話し合ったり、守ったりする。
	言葉	優しい語りかけに声を出し、反応しようとする。	優しい語りかけに喜んで声を出したがり指さしや喃語で思いを伝えようとする。保育士とのやり取りを楽しむ。	保育士の言葉に興味を持つ。発語を喜び、言葉を使って思いを伝えようとする。	保育士と一緒に簡単な言葉のやり取りを楽しむ。	保育士を仲立ちとして、簡単な言葉のやり取りを楽しむ。	生活に必要な言葉がわかり、したいこと、してほしいことを言葉で表す。	保育士や友だちとの会話を聴き、自分の思いや考えを言葉で表現しようとする。人の話を聴き、自分の思いや考えを言葉で表現できるようにする。	人の話を注意して聴いたり、文字を聴いたりして楽しむ。目標や約束のほかに感じたこと、考えたことを言葉で表現できるようにする。
食育	表現	保育士の歌声などを聞いて、心地よさを味わう。	歌やリズムに合わせて、手足・全身を動かして楽しむ。	保育士や友だちと一緒に、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。	楽しい雰囲気の中で、イメージを膨らませ見立て遊びを楽しむ。	興味のあることや経験したことを基に、保育士と一緒に自由に表現する。	自己表現が豊かになり、描いたり、歌ったり、体を動かして表現する。	身近な素材や用具を使って、作る・描く・体を動かすなど自由に表現する楽しさを知る。	生活や遊びの中でイメージを豊かに広げ、様々な表現を楽しむ。歌や音楽に触れ、その楽しさを知る。
	食を営む力の基礎	個人差に応じてゆったりと落ち着いた雰囲気の中で授乳を行ったり、離乳を進め、いろいろな食品に少しずつ慣れる。	ゆったりとした楽しい雰囲気の中で離乳を進め、いろいろな食品を味わったり食べさせてもらう喜びを知る。	楽しい雰囲気の中で保育士の言葉がけにより一人で食べようとする。挨拶をしたりスプーン、フォークに慣れる。	楽しい雰囲気の中で、スプーン等の食器を使って自分で食べようとする。	スプーン等の食器を使って自分で食べられるようになる。食事のマナーを身につける。挨拶の習慣を身につける。	友だちや保育士と楽しい雰囲気の中で食事をして、食事のマナーを身につける。	友だちや保育士と楽しい雰囲気の中で食事をして、食事のマナーを身につける。食事のマナーを身につける。挨拶の習慣を知り、挨拶の大切さを知る。挨拶の大切さを知る。挨拶の大切さを知る。	自分の身の関心をもち、食事と食器の関係を理解しながら食事をする大切さを知る。挨拶の大切さを知る。挨拶の大切さを知る。
健康支援及び安全	・保育測定(毎月)・肥満調査(年2回)・内科健診(年2回)・歯科健診・尿検査(4,5歳児年1回)・眼科健診(3,4,5歳児3年に1回)・視力検査(3,4,5歳児)・耳鼻科健診(3,4,5歳児3年に1回) ・フッ素洗口・毎月の避難訓練と不審者対応訓練・駐在警察官による交通安全の話・消防署員による防火、通報、消火避難訓練・遊具の遊び方について								
保護者に対する支援	・園便り、クラス便り、給食献立表などの配布・個人懇談会や保育参加・一日保育体験の実施・育児相談の実施・おやつ試食会・絵本の貸し出し・給食だより・レシピの提供								
職員資質向上への取り組み	職員会議・給食会議・園内研修の実施・市や県主催の研修会の参加・自己評価・自己啓発								
研修計画	・毎月の園内研修・園内公開保育・年齢別研修会・ヒヤリハット検証								
小学校との連携	・学校行事の交流(入学式、授業参観、卒園式)・あしたばフェスティバルへの招待・小中学生の体験学習の受け入れや交流・学校保健委員会への参加・学校交通安全委員会への参加・小学校との連絡会・一年生との交流会								
地域との連携	・味方地区納涼祭参加・芸能祭参加・児童館との交流								

◆月間・週日指導計画(3歳以上)

平成 30 年度

8 月の月間・週日 指導計画 (5 歳児 組)

園長		主任		担任	
----	--	----	--	----	--

子どもの姿	月間の反省													
	1週(30日~4日)	2週(6日~10日)	3週(13日~18日)	4週(20日~25日)	5週(27日~31日)									
<ul style="list-style-type: none"> プール遊びを通して、全身を使った遊びを喜び、楽しむ姿が見られる。 朝、挨拶をしないで部屋に入ってくる子が多い。 ルールや約束事が分かり、友だち同士で教え合う姿が見られる。 	ね月の反省	<ul style="list-style-type: none"> 健康面に配慮しながら、夏ならではの遊びを十分に楽しめ、満足感を味わえるようにする。 約束事を守り、友だちと一緒に夏の遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> プール遊びで挑戦する事がたくさん見られたので、また一成長できたように感じる。「〇〇にしたい」とやりたい遊びはあってもできないと諦めてしまう姿が見られるので、きょう作りをして遊びに繋がるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 汗の始末や着替え、水分補給などの仕方や手順が分かり、自分から進んでしようとする。 水・プール遊びは楽しいが、危険であることを知る。 プール遊びの中で「できた」「頑張った」という経験をする事で、充実感や自信が持てるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の収穫を通して、興味関心を深める。 水の冷たさ、気持ちよさを感じ楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 約束事を守り、意欲的にプール遊びをする。 野菜作りについての発表をみんな協力して頑張る。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢児と交流し、思いやりを持って接する。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔を付けてリ、リ替、リリ、リリ挑戦してプール遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の思い出を振り返り、絵で表現する。 年下の子に思いやりを持って接する。 					
<p>養護(生命の保持・情緒の安定)</p>	ね月の反省	<ul style="list-style-type: none"> 収穫した野菜の数が分かるように、収穫した数色を塗るカラーンダーを作り、掲示する。 プール遊びの前にしっかりと準備運動を行い、安全にプール遊びを行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表に向けて一人ひとりの役割を決めて、クイズを考えたり、収穫した野菜の数をクラスの中で発表し合う機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 休み明けで疲れている子もいるので、落ち着いて過ごせるようにする。 異年齢児と一緒に過ごす機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 20日(月) 身体測定・神楽舞 22日(水) 誕生会 23日(木) 避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 28日(火) 不着者対応訓練 30日(木) B&Gプール 31日(金) プール納め 	<p>教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全身を使った遊びを十分に楽しむ。 自分なりの目標をもって挑戦しながらプールで遊ぶ。 思いやりの気持ちを持って、異年齢の友だちと関わる。 様々な遊びを通して互いに思いを出し合う中で、友だちの意見を受け入れながら、関係を深めていく。 野菜や花の世話をするを楽しみ、生長を観察する。 保育士や友だちに思ったことや疑問などを言葉で表現し、伝えようとする。 遊びに必要なものを工夫して作る。 経験したことを絵で表現して楽しむ。 	<p>環境構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 収穫した野菜の数が分かるように、収穫した数色を塗るカラーンダーを作り、掲示する。 プール遊びの前にしっかりと準備運動を行い、安全にプール遊びを行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表に向けて一人ひとりの役割を決めて、クイズを考えたり、収穫した野菜の数をクラスの中で発表し合う機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 休み明けで疲れている子もいるので、落ち着いて過ごせるようにする。 異年齢児と一緒に過ごす機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> プール遊びの後は疲れが取れるようゆっくりと休息をとる。 神楽舞を怖がる子が多いので、意味を伝え楽しんで参加できるようにしたり、苦手な子は後ろに座れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 年中児と交流できるよう、2クラスどちらでも遊べる時間を設ける。 クイズの準備はよく用意し、好きな方法で表現できるようにする。
<p>健康及び安全</p>	ね月の反省	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の収穫を楽しむ。 野菜の数を数えて、収穫カラーンダーに色を塗る。 水に触れて楽しむ。 友だちがしていることを真似してみようとする。(プール) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で話し合い、クイズを考えたり、役割を決めたりする。 小学校の先生に聞きたいことを考える。 プールでの約束事を友だちに教わり、注意し合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢児と一緒に遊ぶことを楽しむ。 年下の子に思いやりをもち、お世話しようとする。 休み中の出来事を友だちと話し合っ楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> プール遊びで目標に向かって、泳いだりリ替、リリしてみよう。できたことを友だちや保育者に見せる。 神楽を怖がる子、噛んでしまう!と楽しみにする子が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 年中児と一緒に遊んで楽しむ。 夏の思い出を思い出し、何を描こうか考え、描く。 B&Gプールを楽しむし、のびのびと泳いだり、水に触れて楽しむ。 	<p>援助と配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 収穫した野菜を給食に出してもらい、苦手な野菜も自分たちで育てたという特別感で食べてみようと思えるよう声かける。 子どもたちの興味のある曲を使い、十分に体を動かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で頑張ろうとする姿を認め、必要な時だけ援助し、できる限り子どもたちのかかわりできるようにする。 約束事を繰り返し伝えることで、安全にプール遊びができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任不在の日があるので、他のクラスの職員に子どもへの体調面などを伝えておくなどの配慮を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> プール遊びでの挑戦する気持ちを大切に、できたことを褒め、自信に繋がるようにする。 神楽を怖がる子にはそばに寄り、そばで見れるよう配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢児との関わりが持てるよう仲立ちしていく。 休み中にどのようなことをしたいか尋ね、楽しんでいこうと思いを伝えながら描けるような言葉かけをする。 		
<p>食育</p>	ね月の反省	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで育てた野菜を収穫し、調理することを通して、旬の食材を味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の発表は、取柄しがる子もいたが一人ひとり頑張っていた。小学校の先生とも取柄合えて良かった。小学校の先生と話す機会が増え、小学校への期待感が高まったように感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> お盆期間があり、人数の少ない日もあったが、異年齢交流したことで楽しませてくれた子が増えたり、休んでいる子が戻ってくる嬉しさや楽しさがあり、友だちの大切さに改めて気づいていっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生、見てとプール遊びでできるように、できたことを喜ぶように見せてくれる子が増えたり、自信を持ってできるように感じている。プールの支度などもスムーズになり、プール期間だけでも、とても成長しているなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年中児との交流は今まで良かったので、友だちとの関わりが増えたり、遊び込んでいる姿が見られたりしたので、残りの2日、雨の日が多いため、トビボールなどで室内でも十分に体を動かせ、部屋で落ち着いて過ごせていた。 	<p>個別対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの健康状態を把握し、エアコンを適切に使いながら室温をこまめに調節する。 	<p>健康及び安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの健康状態を把握し、エアコンを適切に使いながら室温をこまめに調節する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の発表は、取柄しがる子もいたが一人ひとり頑張っていた。小学校の先生とも取柄合えて良かった。小学校の先生と話す機会が増え、小学校への期待感が高まったように感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> お盆期間があり、人数の少ない日もあったが、異年齢交流したことで楽しませてくれた子が増えたり、休んでいる子が戻ってくる嬉しさや楽しさがあり、友だちの大切さに改めて気づいていっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生、見てとプール遊びでできるように、できたことを喜ぶように見せてくれる子が増えたり、自信を持ってできるように感じている。プールの支度などもスムーズになり、プール期間だけでも、とても成長しているなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年中児との交流は今まで良かったので、友だちとの関わりが増えたり、遊び込んでいる姿が見られたりしたので、残りの2日、雨の日が多いため、トビボールなどで室内でも十分に体を動かせ、部屋で落ち着いて過ごせていた。
<p>保護者への支援</p>	ね月の反省	<ul style="list-style-type: none"> 健康な状態でプール遊びができるよう、子どもの体調を確認して、毎朝プールカードに記入してもらう。 												